

常新新聞

定部一五錢  
郵税五厘  
廣告一頁一十二日  
刊日曜大祭  
印刷所 本島縣石城郡平町五番地  
電話 三三三番

發行編輯人 川崎文治  
印刷所 本島縣石城郡平町五番地  
電話 三三三番

刊夕日十三月十

**世相甚だ險惡(二)**  
長橋野人

隨筆

是れは到底徳川幕府當局の誤りであつた、我國の演劇史を案するに其濫觴を徳川幕府の初期に發し、其末期に於て爛熟したけれ其其脚本は總て治者に對する被治者の不平を劇化したものであつた

が最も一般の共鳴する處であつた

之等の潜在する世道人心の險惡は、遂に維新の革新を勃發した、われ等當時の所信志士達が斯る機運を造つたものでなくして民衆のそふ氣分に乘じた事を信するものである

斯かる例から見ても、我等は世相の險惡は、惡政治の反映である事を確信するものである、政治が民衆の文化に相應せずして進歩せざる場合に世相は決して險惡ならざるを得ない

今日の世相の險惡なるもの要するに此機を出てない現内閣は民衆を友とし、護憲内閣と諷刺しつつあるも、其内容は社會の進歩に遅れたる官僚思想が横溢して居る、斯る政治の執り方を以つて國民生活の安泰を望むが如きは百年河清を待つに等しきものである

為政家は一國の中に最も優秀なる新思想家であらねばならぬ、社會の進化に順應する頭腦と識見と手段を有しない者が國政の衝に當つた場合世相の惡化は當然過ぎる程當然である(完)

**建築材料**

磐城セメント樽入 袋入  
板ガラス各 種  
壁用材料各 種  
ペンキ塗各 種

セメント、板ガラス安價になり  
ました、  
御照會を乞ふ

磐城セメント株式會社代理店  
**西村屋藥舖**  
平町二丁目電話三番

**ゼブラ自轉車購買會**  
◎今回は何時でも御入會が出来升  
……景品付……  
**恵比壽屋商店**  
平南町(電話呼三四四番)

**電話新設**  
**電話卅一番**  
平町土橋通り  
**原齒科醫院**

**御披露**

**獵銃製造工場**

從來當地方ニ銃砲製造修理所ナク皆  
様ハ多額ノ費用ト御不自由ト煩ハ  
サレタ事ヲ遺憾ニ堪エマセンデシタ  
ガ弊店ハ平素ノ御高底ニ酬ヒ度ク存  
ジ萬難ヲ排シ横濱、東京各銃器工場  
カラ腕ヲ勝レタル技術者ヲ招ギ工場  
ヲ新設致シマシン各般獵銃、空氣銃  
ノ新調及修理ノ御要求ニ應ジ價格ヲ  
最モ低廉ニ日限確實、小修理等ハ御  
待合ノ内ニ調製致シマスカラ何卒御  
用命ノ程ヲ御願ヒ申上マス尙業書カ  
電話デオ問合セ次第御返事シマス

目丁一町平城磐  
内店藥火砲銃平社會資合  
所造製砲銃邊渡  
番一四四話電

美味で評判の  
**遠藤パン**  
(平驛前)

開設  
料理御  
**大村や**  
郡役所横通

**旅大村屋**  
平町二丁目  
電話一七五番

**一冊の代金で  
五冊の雑誌が  
自由に讀める**

御希望通りな  
**自由讀**  
平町長橋町三五

**川崎回文庫**  
(市込次錦規則書進呈)

急告貸家  
本町通り目抜の場所  
にて角家敷貸し度し  
**姓名在社**

平町田町 電話三三三番  
**丸登株式会社**  
川添房二郎

**各種流行新柄入荷**  
流行新柄の秋物及び冬物防寒品  
澤山揃ひました

どうぞお早く……  
平町一丁目(電話一一七番)  
**仙台屋呉服店**

**トリミルク**

玉の愛兒も  
樂々肥る  
メリーミルク

製造元 東京東  
子葉社  
社約特  
目丁四町平  
ヤトモツマ

小兒科  
淋病科  
梅毒科  
平町紺屋町  
**藤沼醫院**  
電話五〇七番

**株式賣買中値**  
電話に金融致し

銘格	拂込	時價
磐城銀行	五〇〇	五三〇
平銀行	五〇〇	六八〇
磐越銀行	一一五	一〇五
磐城實業	五〇〇	四二〇
磐城實新	三〇〇	二八〇
田村實銀	一一五	一一五
四倉銀行	一七五	一七五
農工銀行	二〇〇	二五〇
同新	一五〇	一五〇
百七銀行	五〇〇	五五〇
同新	一一五	一六〇
七七銀行	一一五	九八〇
郡山電氣	五〇〇	四二〇
同新	二五〇	一九五
只見川電	一一五	七五〇
植田水電	一一五	一五〇
好間水電	一一五	一三〇
磐城製菓	一一五	二五〇
磐城製菓	一一五	二五〇
平信託	一一五	二五〇
磐城勸業	一一五	一三五
植田物産	一一五	二六〇
平製氷	一一五	一八〇
好間軌道	一一五	三〇〇
入山新	一一五	一七〇
小田炭礦	一一五	一八〇
磐城炭礦	一一五	四一〇
同新	一一五	一八〇
磐城セメント	一一五	六二五
同新	一一五	四二〇
平運送	一一五	八〇

### 伊坂町長出福し 水道擴張の補助申請

#### 平町の現勢に平向すべく 最も緊急な計劃

平町に於て大正十四年度の水道事業として現在の設備に加へ更に沈澱池濾過池配水池、各一個を増設する外近來著しく伸展しつゝある舊城跡方面に

配水管を延長すべく目下約十萬圓の豫算を以つて夫々設計進行中であるが前記計劃は躍進の道程にある平町の現勢に平向すべく何れも必要な施設で殊に舊城跡への配水は遂日該

### 金融圓滑の時代は 前途未だ遠し。。。

#### 不景氣はイツ迄續くか 平町有志の觀想談

最近金融甚だ緩慢であるが不景氣循環の大勢に關し平町銀行業者や其他識者の談を綜合するに大体左の如き意見である

近時金融緩慢の聲を聞くがそれは眞の意味での緩慢ではない一部の銀行に變態的に剩餘を生じゐるのでこれがコールドに出れば大變易く取引されるために一般の商業業者は金融緩慢と

### 常磐片々

夏井川に婆さんの後から爺さん身投げソナナに急がすとも先が永い譯じやあるまいし

夫れにしても井上さんは發電所問題をお忘れですか、鋭い舌鋒を奮發して小氣味よく願ひますヨ

### 小名濱無電 受信部竣工

完成は五日頃  
石城郡小名濱町水産試験場構内に建設中の無線電信の受信部は既に竣工し目下試験中で其成績極めて良好なるものあり發信部も機械の到着を待つて來月五日頃据付を了すべく右完成の曉は石城七濱に於ける漁業に一新機軸を出す事になるであらうと今後の利用を刮目されて居る

### 檢事長來平

來る二日に  
宮城控訴院檢事長黒田英雄

財界好況への轉機となる金融の圓滑といふ時代には前途尙ほ遠慮であることを知らねばならぬ、金融緩慢となり各種の商業物發し所謂經濟界の好況時代となるには今日政府當局を始の各方面で緊縮方針について各人各様の立直し策を論せられて居るが

### 平町本町通りを 分會旗先登に行進曲

#### 海軍軍樂隊の演奏 地方としては破天荒の催し

記報横須賀鎮守府軍樂隊は樂長福喜多鎮雄氏引卒の許に一行卅名七日午後三時卅八分平驛着任吉屋支店に投宿同夜六時より平劇場に於て演奏會を開き翌日午前九時から午後四時迄磐城高等女學校々庭にて催す等だが當日開會に先ち本町通りを在郷軍人分會旗を先登に行進曲を奏しつゝ團員全部是れに従ふ由



デフテリの注意

ゾフテリは満二歳から七歳位に最も多い急性の傳染病です。早く発見して血清注射をすれば大抵は治りま

### 花柳界好況 目覺しい景氣

石城地方の各炭礦は既報の如く支那動亂の著しき影響す。然し時期を失するとその血清注射も効を奏しませぬ。主な容態は聲が著しくかたて犬の吠えるやうな響きのある咳が出て呼吸が困難になり、三十八度内外の發熱があるけれどもごく初期には以上の容態は左程目立つほどでない場合が多いので、たゞ局部にできる白

### 基督教講演 平侵禮教會で

平町材木町平バプテスト教會にては三日から三日間毎夜七時より基督教講演會を開く等だが講師は浸禮派巡回講師今井軍氏であると

### 夏井川に 老爺の投身

石城郡泉村宇下河瓦職山野邊彌吉(五)は昨日午後五時頃鎌田鐵橋から夏井川に投身したる際踏切番兼田定次郎が発見救助したが原因は家庭の不和であると

### 廿口迄の 遭難寄金

磐崎第一小學校遭難三兒童のために石城郡教育會では兼ねて弔金募集中の處卅日迄に集まつた額は平第二校外第一校にて二百二十八圓九十五錢であるから締切までには五百圓以上を突破するであらうと

### 警城育英會の 貸費を決定

既報警城育英會評議員會及び第十八回總會は廿九日午前十時から石城郡役所にて開會審議の結果左記貸費生を許可した由

### 平町人事

- ▲出生  
△撫楯小路 上原字十郎氏二男明  
△北町町 鈴木茂助氏長男定雄  
△古御治町 石川辰太郎氏三男六郎
- ▲婚姻  
△石城郡赤井村大金松氏(四九)  
△胡原澤大方(四三)  
△東京府下北豊島郡南千住町 岡宮清氏(二五)紺原町柳下マツ子(二七)
- ▲死亡  
△板橋小路 小林裕幸氏(二二)  
△北海道札幌市大東秀(二二)

### 江田信號所 驛に變更

平郡線小川郷川前兩驛間江田信號所を驛に變更新設方を石城郡上下小川組合村長から鐵道大臣に請願中の處廿七日付願意取運び難き旨の通達があつた

### 平へ修學旅行 双葉

郡上岡小學校高等二年生は

### 訓導縣外視察 平第

一小學校訓導矢野弘平、橋